

# ナーシングキッド



日本語

Directions for Use

[www.laerdal.com](http://www.laerdal.com)



**Laerdal**

helping save lives



# JAPANESE

## 目次

推奨	1
パッケージ内容	1
トレーニング項目	1
気管挿管	2
頸動脈拍動	2
気管切開孔プラグ	2
気管切開後のケアと吸引	2
肺の装着と取外し	2
経鼻胃挿管	2
胃リザーバーの使用	2
胸部プレートの装着と取外し	2
スピーカー付き腹部プレートの装着と取外し	2
注射パッド	2
IV アーム	2
皮膚と静脈の交換	3
静脈の交換(皮膚は交換しない場合)	3
外性器	3
結腸リザーバー	4
導尿カテーテルと浣腸シミュレーション	4
Sim Pad 接続	5
音声の聴取および心音・呼吸音・腹部音(腸雑音)の聴診	5
トラブルシューティング	5
手入れとメンテナンス	5
交換部品	5



CE マークの付いている製品は council directive 1999/5/EC の主たる要件および関連条項を遵守しています。

## 注意および警告

この製品は天然ゴムラテックスを使用しています。  
天然ゴムラテックスは、まれにアレルギー症状を  
起こすことがありますので、ご注意ください。

ナーシング キッドは人体に近い全身マネキンで、6 歳男児の患者をリアルに再現したものです。特に専門家による看護ケアの基礎・応用、心音と呼吸音の正常と異常を聴診で判別するトレーニング用にデザインされています。

パーツの交換も簡単ですので、正しい手入れとメンテナンスにより、頻繁な使用に耐える品質を保ちます。

## 推奨

静脈穿刺針：サイズ 22G 以下  
気管切開チューブ：サイズ 4  
喉頭鏡：サイズ#2 の直またはカーブ型ブレード  
導尿カテーテル：サイズ 12Fr  
浣腸シミュレーション：サイズ 7  
経鼻胃チューブ：サイズ 10Fr  
気管チューブ：サイズ 5.0m

## パッケージ内容

- (1) 小児用全身マネキン
- (1) IV トレーニングアーム
- (1) 男性外性器
- (1) 女性外性器
- (3) 尿管バルブ
- (3) 肛門バルブ
- (1) 潤滑剤
- (1) 入院ガウン
- (1) キャリングケース

## トレーニング項目

- 基本的な患者ケア
- 口内衛生ケア
- 経口挿管
- 静脈穿刺
- 経鼻挿管
- カテーテル手技
- 目と耳の洗浄
- 結腸洗浄
- 浣腸シミュレーション
- 経鼻胃チューブの挿入、ケア、抜去、薬剤投与
- 胃洗浄／胃管栄養法
- 経口胃チューブ挿入
- 気管切開後のケアと吸引
- IV 輸液
- 皮下・筋肉注射
- 心音・呼吸音・腹部音(腸雑音)の聴診
- 言語によるコミュニケーション

## 気管挿管

使用器具は以下を推奨します。

- 気管内チューブ: サイズ 4mm または 5mm、カフ付きまたはカフなし
- 潤滑スプレーまたは液体洗剤
- 喉頭鏡ブレード: サイズ#2 の直線型またはカーブ型
- 喉頭鏡ハンドル

挿管時には、気管切開孔プラグを外してください。

### 推奨

チューブやエアウェイは使用前に潤滑剤を塗布しておいてください。

## 頸動脈拍動

頸動脈拍動はマネキンに繋がっている赤いゴム球を使って手で再現できます。拍動の強さはゴム球の握り具合で調整してください

## 気管切開孔プラグ

プラグをつまんで持ち上げると外れます。

装着する際は穴にしっかりと押し込んでください。

### 推奨

気管切開チューブのサイズは数種類使用できますが、最適サイズは 4mm です。

## 気管切開後のケアと吸引

- 低刺激性の液体洗剤と水を半々にコップに入れて混ぜます。
- 肺と気管を外します。
1. で作った液体を、吸引カテーテルに液体が入るまで肺に注ぎます。
- 吸引カテーテルが液体を吸引する位置まで、肺を液体で満たします。
- 肺を元に戻します。

液がスピーカーの接続部や基板類にかからないようご注意ください。

液体の濃度は通常気管切開をした患者に見られるものに相当します

使用後はすぐに液抜きし、肺を自然乾燥させてください。

## 肺の装着と取外し

肺を取り外すには、気管支チューブの結束バンドを外します。元に戻すには、これと逆の手順で行ってください。

その際、ピンセットで結束バンドを広げ、Y 字コネクタにかぶせるようにすると、簡単です。

## 経鼻胃挿管

ナーシング キッドには、食道および胃リザーバーが装備されています。これにより胃洗浄や胃管栄養法などの経鼻胃挿管手技を実習できます。

## 胃リザーバーの使用

- 腹部プレートを外します。

### 推奨

挿入を容易にするには、チューブ使用前に潤滑剤か液体洗剤をかけてください。

- リザーバーと食道をつなぐコネクタのネジを緩めます。
- リザーバーに胃洗浄シミュレーション用の液体を注入します。
- リザーバーを元に戻します。

## 胸部プレートの装着と取外し

### 推奨

胸部プレートを戻す際は、ベビーパウダーをまぶすと楽に行えます。

## 取外し方

- プレート中央部を押します。
- プレートの端から指を入れて持ち上げます。
- 心音スピーカーのコネクタを外してから、プレートを外します。

## 装着の仕方

- プレートを胴体にかぶせます。
- 心音スピーカーを接続します。
- 胴体にフィットさせながらプレートをはめ込みます。

## スピーカー付き腹部プレートの装着と取外し

### 推奨

胸部プレートを戻す際は、ベビーパウダーをまぶすと楽に行えます。

## 取外し方

- プレート中央部を押します。
- プレートの端から指を入れて持ち上げます。
- 腹部音用スピーカーのコネクタを外してから、プレートを外します。

## 装着の仕方

- プレートを胴体にかぶせます。
- 腹部音用スピーカーをつなぎます。
- 臀部にフィットさせながらプレートをはめ込みます。

## 注射パッド

- 取外しは、指で摘んでパッドを引っ張ります
- 戻す際も指で摘みながら押し込んでください

### 推奨

パッドにもベビーパウダーをまぶすことで、スキンや注射部位に装着しやすくなります。

注射パッド使用後(水以外使用しないで下さい)は、取り外して水抜きし、自然乾燥させてください。

## IV アーム

以下の部位に穿刺できます。

- 手背静脈 3ヶ所
- 肘前窩
  - 橈側皮静脈
  - 正中皮静脈
  - 尺側皮静脈

#### 使用法

1. IV バッグを静脈チューブに装着します。
2. 静脈チューブを静脈チューブの一端に装着します。
3. 腕全体の血管に充填されるよう、ゆっくりと擬似血液を注入します。
4. 液が十分全体に回ったら、止血鉗子等を使って血管の出口側をクランプします。

#### 推奨

カテーテルのサイズは 22G 以下を使用することで、IV アームが長持ちします。カテーテル使用時は、潤滑剤を塗布しておく、挿入が容易になります。

これで静脈穿刺の準備は完了です。

#### 推奨

穿刺部位での漏れがひどい場合は、静脈や皮膚を交換します。擬似血液が流出することがありますので、交換は流し台などで行うことをお勧めします。

#### 皮膚と静脈の交換

皮膚と静脈の両方を交換する場合

1. カッターなどを使って皮膚を切ります(図 1)
2. 古い皮膚を捨てます。

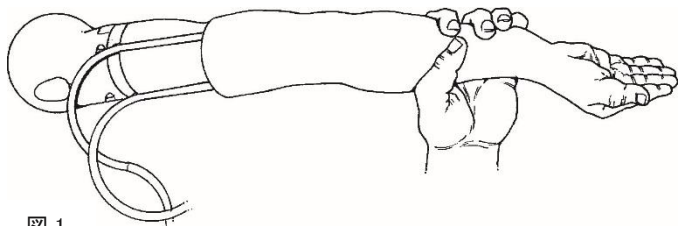


図 1

#### 静脈の交換(皮膚は交換しない場合)

1. 滑りを良くする為、液体洗剤を皮膚の内側へ(指の部分まで入るよう)に流し込みます。
2. 上腕部から静かに皮膚を引っ張り、腕から剥がします。\***皮膚を巻き上げる方法では、かえってきつく締めることとなりますのでご注意ください。**また、親指が皮膚と一緒に外れますが、そのまま内部に留置しておいて下さい
3. IV アームから静脈チューブを外します。チューブの固定の為、予め幾つかのポイントに接着剤が用いられていますが、これもきれいに剥がしてください。
4. 静脈チューブをはめ込む溝をすすいで良く乾燥させ、アルコール綿で拭いてください。
5. 溝に沿って新しい静脈チューブを装着します(図 2)。瞬間接着剤を用い、予め幾つかの箇所を接着しておく確実に固定できます。
6. 液体洗剤を十分に泡立て、腕および皮膚を浸します。

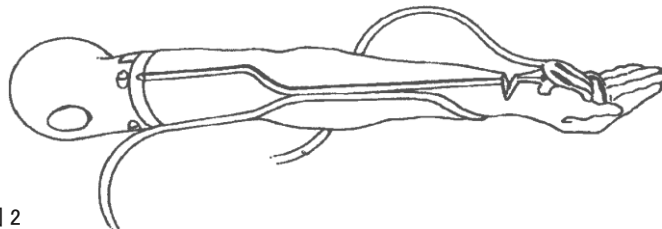


図 2

7. 皮膚に手を差し込みます。

#### 推奨

皮膚をドライヤーなどで暖めると柔らかくなり交換が容易になります。

8. 手袋をはめるように、指の部分の皮膚を正しくフィットさせます。
9. 腕の部分の皮膚をフィットさせます(図 3)

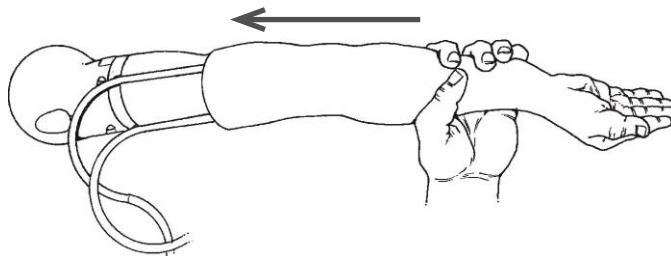


図 3

#### 外性器

導尿カテーテルと浣腸のトレーニング用に男女両方の外性器が用意されています。

一端にネジ式のキャップが付いたチューブ状のバルブが付属しており、これで尿道と肛門をそれぞれのリザーバーに接続します。キャップは外性器の裏側に装着し、もう一端は、尿道と肛門のリザーバー側にクランプを用いて接続します。  
(付属するバルブのうち、長い方が尿リザーバー、短い方が肛門リザーバー用です。)

外性器の着脱には骨盤ピンの着脱も忘れずに行ってください。

#### 推奨

骨盤ピンを必ず元に戻してください。戻し忘れると骨盤が広がってしまい、外性器をマネキンに装着できなくなる場合があります。

回腸造瘻プラグ付きの腹部プレートには尿リザーバーが入っています。リザーバーに液を充填するには、プラグを外し、液を注入してから元に戻してください。

### 外性器の装着方法

1. 外性器にバルブをねじ込みます。
2. Cリングをコネクタに取り付けます。
3. リザーバー側にコネクタを差し込みます。
4. Cリングを締めます。
5. 外性器一式(写真2)を骨盤内部に差し込みます。
6. 骨盤ピンを元に戻します。
7. 腹部プレートを手元に戻します。

下の写真 1A, 1B および 1C をご覧ください。

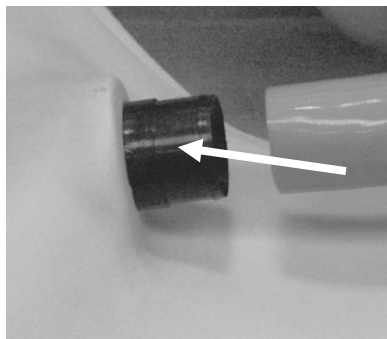


写真 1A  
チューブをコネクタの凸部まで押し込みます。

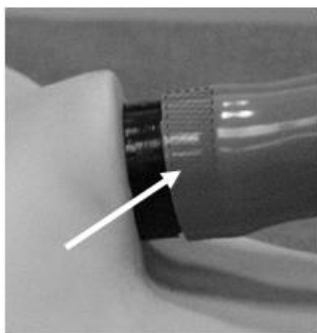


写真 1B  
クランプを取り付ける箇所。

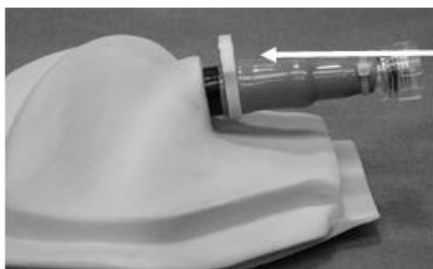


写真 1C  
クランプを取り付けてから締めます。

### 結腸リザーバー

結腸リザーバーは狭い方を下に、コネクタが外側に向くようにして、骨盤内部に装着します。コネクタは外性器の肛門バルブをリザーバーにつなげるのに使います。リザーバーは使用後にマネキンから取外し、裏返して液抜きし、完全に乾かしてから保管してください。(写真2)

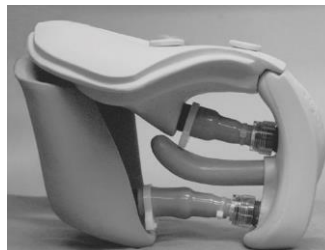


写真 2  
長いバルブを尿リザーバーに、短いバルブを結腸リザーバーに接続します

### 外性器の取外し

1. 腹部プレートを持ち上げます。
2. 外性器の上部を腹部側に引っ張り、骨盤ピンを外します。
3. これで腹部プレート、外性器とコネクタ、結腸リザーバーが同時に外せます。

### 導尿カテーテルと浣腸シミュレーション

#### 推奨

カテーテルには、使用前に潤滑スプレーまたは液体洗剤の原液をかけて滑りやすくしてください。

繰り返し使用しているうちに水で潤滑剤が流され、摩擦でひっかかるようになってしまいます。この場合は潤滑剤をたっぷりかけ、尿道に何度か抜き差ししてください。

抜去時にカテーテルがひっかかる場合は、しばらく抜き差しを繰り返してください。可能であればリザーバーにぬるま湯を入れ、潤滑剤や洗剤がカテーテル周囲で固まるのを避けます。また、バルブを外す際には必ずリザーバーの液抜きを行ってください。

#### 推奨

導尿カテーテルにはサイズ 12Fr を使用してください。浣腸シミュレーションにはサイズ 7mm のカテーテルを使用してください。

### バルブの液漏れチェックリスト

- A. チューブやコネクタが正しく装着されていますか？
- B. バルブのコネクタ部に Oリングがきちんと付いていますか？
- C. 白色のクランプがバルブにしっかりとハマっていますか？
- D. バルブが正しく装着され、リザーバーと外性器に正しく接続されていますか？

## Sim Pad 接続

1. ナーシングキッドの背面部にあるケーブルで Link Box に接続します。(写真 3)
2. マネキンによっては SimPad システムに同梱されているケーブルアダプタを使用する必要があります。

**音声の聴取および心音・呼吸音・腹部音(腸雑音)の聴診**  
心音・呼吸音・腹部音(腸雑音)の聴診についての詳細は、SimPad の取扱説明書をご覧ください。



(写真 3)

## トラブルシューティング

### 骨盤が広がってしまったのですが

骨盤をベルトで締め、ヘアドライヤーなどで暖めると柔らかくなります。ピンを挿入してからしばらく放置して、冷めるまでそのままにしてください。

### コネクタから液漏れがあるのですが

C 型クランプがきつく締まっているか、またコネクタがきちんと締まっているか確認してください。

### カテーテルが抜けないのですが

カフが脱気されているかどうか確認してください。

## 手入れとメンテナンス

1. クリーニングには低刺激性の洗剤と水を使用してください。またマネキンや部品を洗浄液や水に浸さないでください。
2. マネキンは必ず清潔な面の上でご使用ください。マーカーペン、インク、アセトン、ヨウ素などの染色液は使用せず、また新聞・雑誌など印刷物の上での使用も避けてください。
3. トレーニングごとにクリーニングし、また定期的に点検を行うことで、マネキンが長持ちします。
4. 各モジュールや部品類は、保管前に必ず液抜きし、完全に自然乾燥させてください。必要に応じて消毒も行ってください。注射パッド使用后(水以外使用禁止)は水抜きをしてください。**皮下注射および筋肉注射用のパッドは濡れたまま放置しないでください。**かびを防ぐには、パッドを水で薄めた消毒液か漂白剤に浸した後、余分な水分を絞ってから乾燥させ、マネキンに戻すか個別に保管してください。
5. 可動部のある部品については、トレーニングセッション開始前にベビーパウダーをまぶしておくことで、動きが滑らかになります。
6. 使用後は正しく保管してください。

マネキン胴体のスピーカー部に異物などが詰まらないようにしてください。

## 交換部品

カタログ番号	商品名
350-00250	頭部
350-00350	左腕
375-71001	IV アーム(右腕)
350-00450	左脚
350-00550	右脚
350-00650	三角筋パッド
350-00750	大腿部パッド
350-00850	臀部パッド
375-70150	交換用静脈&スキン(小児)
200-10001	SimPad システム
350-00150	尿管/肛門バルブ
350-00950	ガウン
231-01150	キャリングケース

ご不明な点はレールダル メディカル ジャパン株式会社  
ヘルプデスク、またはカスタマーサービスまでお問合せ  
下さい。



20-05825

© 2012 Laerdal Medical. All rights reserved  
20-05825rev B Printed in US



**Laerdal**

*helping save lives*